

例会プログラム

第1801回例会 2019年2月19日(火) 場所：うもれぎ亭

点鐘 会長 中村文隆
 ローターソング 『それこそロータリー』
 ローターの目的唱和
 ゲスト並びにビジター紹介
 富山県事業引継ぎ支援センター プロジェクトマネージャー 守山憲男様
 会長挨拶並びに報告
 幹事報告
 委員会報告
 出席報告・ニコニコBOX報告
 ローターの友紹介
 本日のプログラム
 卓話『富山県事業引継ぎ支援センターの概要』 守山憲男様

【本日のプログラム】卓話『富山県議場引継ぎ支店センターの概要』

富山県事業引継ぎ支援センター プロジェクトマネージャー 守山憲男様

◇事業継承の現状

小規模企業を中心に、企業数は年々減少傾向にある。倒産件数の減少に対して、休業・解散件数は高水準で推移。中小企業経営者の高齢化が進展(66歳の経営者が一番多い)。2015～2020年までに約30.6万人の中小企業者が新たに70歳に達し、約6.3万人が75歳に達する(母集団122万人を法人数172万社で割り戻して推計)。

◇増加する親族外、第三者への事業引継ぎ。

従来、9割以上の中小企業は親族に事業を引き継いでいました。しかし、現在ではその割合は4割以下に低下。当たり前とされていた「親族が家業を継ぐ」という考え方が成り立たない時代になりつつある。

◇後継者難は、黒字企業をも廃業に追い込む。

廃業時の経営状況を見てみると、約4割の企業が経営黒字。経営が順調であったとしても廃業に追い込まれるケースの多さがうかがえます。

◇意外と多い、廃業のリスクと損失。

「後継者がいないのであれば、自分で会社をたためばいい。」そう考えるのは簡単。ですが、「社員の雇用の損失」「取引先との関係断絶」「負債が残るケース」など、廃業にも多くのリスクが伴うことを忘れてはいけません。

・資産処分：一般的に処分に時間を要し、かなり低い評価となる。

・負債：完済できない場合には、個人保証が顕在化する。

・従業員：当該企業での経験が少なく、特に高齢の従業員は再就職が困難なケースが多い。

・取引先との関係：顧客、仕入れ先等との関係が断絶されてしまう。

◇後継者の育成は、3年以上の時間がかかる。

中規模企業では9割以上、小規模企業では8割以上の経営者が、後継者を育てるのには3年以上の期間を要すると答えています。その中でも、最多の期間は5年以上10年未満と答えた層。後継者を育てるのか、第三者に引き継ぐのか、答えは見つかっていないと、早めの対策が必要。

◇先入親を捨て、第三者に引き継ぐという選択。

中小企業のM&Aの件数は年々増加傾向にあるものの、約4割の経営者はM&Aに抵抗感を持っています。これまで親族・従業員が事業を引き継ぐことが一般的であった日本において、円滑に事業

出席報告

会員数	31名
本日の出席者	19名
メイクアップ済	0名
本日の出席率	76.00%
2/5修正出席率	84.00%

幹事報告

- ◆配布物
次回例会出欠票
ロータリーの友2月号
- ◆回覧物
ハイライトよねやま

を引き継ぐためには第三者に事業を譲るといった視点を持つことも重要です。

◇事業引継ぎセンターの支援実績

平成23年度の事業引継ぎ支援事業開始から、多くの中小企業の方々の相談やマッチングに対応。譲渡企業の役70%は従業員数10名以下と小規模事業者のマッチングに多くの実績を重ねています。「事業引継ぎ支援センター」がサポートした事業継承の形態の約70%が第三者への事業引継ぎ。第三者に事業を譲る上で多くのノウハウを蓄積しています。事業継承は、1件1件問題点等が異なっており、いろいろな対応が必要となってきます。また、時間がかかるということも念頭に置き、早期の対応を心がけてください。親族内継承でも従業員継承でもM&Aでも、また今後どのように事業継承を進めればよいかわからない場合でも、まず、富山県事業引継ぎ支援センターにご連絡くだされば、一緒にご相談し、今後の対応も検討いたします。



ニコニコBOX

- ◆ 中村会長 守山さま、ようこそ射水RCへ。本日は卓話よろしくお願い致します。
- ◆ 土佐副会長 守山様、先般ご指導頂きありがとうございます。今日はようこそ射水RCにお越し下さいました。
- ◆ 小谷幹事 守山様、本日の卓話よろしくお願い致します。
- ◆ 夏野(茂)会員 守山さん、卓話宜しくお願いします。
- ◆ 上田会員 ウド鈴木がいきなり私の寺にやってきました。放送は富山テレビ4/13(土)です。誕生日祝いをいただきました。